

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部 通信指令課											
	作成責任者	土永辰彦											
	事業名	消防通信指令システム管理事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	会計	一般会計	事業コード	550228	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成10年度(1998)											
	終了予定年度	平成32年度(2020)											
	関連計画等	—											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	119番通報から災害発生場所及び災害内容を迅速・的確に把握し、被害を最小限度に抑えるために、指令管制業務の研修や通信指令システム(消防指令システム、消防救急デジタル無線等)の機能維持を図り、災害対応の初動に万全を期すことを目的とする。										
	対象者	市民、消防職団員(7万9千人)、観光客(94万6千人)			対象者数	1,025,000	単位あたりコスト	0.1				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	(株)富士通ゼネラル (株)ドーン 大槻ポンプ工業(株)										
	事業概要	指令業務実務研修や指令システム及び消防救急デジタル無線等の機能維持のための保守点検並びに修繕等を実施する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	指令システム保守点検、無線保守点検、無線定期(認定)点検					8,375				
		役務費	119回線等使用料、発信位置情報用					6,883				
		需用費	基地局電気代、通信指令システム修繕料、UPSバッテリー、消耗品					1,527				
		使用料及び貸借料	NET119システム					1,300				
負担金補助及び交付金、旅費		負担金補助及び交付金、旅費					375					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	19,726	23,031	18,460	16,747	
	②補正予算				55	
	③流充用額	437	△ 1,888			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	20,163	21,143	18,460	16,802	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	10.66/0	10.93 / 0	12.27 / 0	12.27 / 0	
⑤概算人件費		85,280	87,440	98,160	98,160	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		105,443	108,583	116,620	114,962	
⑦執行額		20,163	20,753	18,460		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	98.2%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		指令管制業務の不具合	回	0/0	0/0	0/0	/0	0
		機器の不具合	回	3/0	3/0	5/0	/0	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		119番通報対応件数	回	5753/7000	6257/7000	6410/7000	/7000	/7000
		単位あたりコスト		3.5	3.3	2.8		
			0	0	0	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	119通報受信から出動、災害情報の伝達等指令管制業務は、災害対応の初動となるため、24時間365日正常な稼働及び運用が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	機器の保守管理については、近隣の消防本部や他社との比較、他の手段の検討を行ないながら、効率的な保守点検や修繕を実施した。また、使用料などについては、効率化に向けた工夫が必要である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	機器の異常が発生しても迅速な対応で改修が行われ、正常に稼働し運用ができており、市民の安心・安全が図られている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		指令システムの保守点検及び無線機器の点検により、指令管制業務が停止するなど災害対応に支障は発生していない。機器の異常が発生しても迅速な対応で改修が行われている。保守点検、修繕が機器導入業者でないと不可能な部分もあるが、費用が近隣の消防本部の同型と比較しても高止まりはしていない。	
今後の課題及び方向性		平成24年に運用を開始して7年が経過し、年間4900件の通報を通年終日、間断なく受信している。その中、構成機器の耐用年数の超過により機能低下や補修用性能部品の保有期間の終了を迎え、スポット修理も困難な状況になってくる。今後、指令管制業務の共同運用も視野に入れながら、計画的に低廉化を図りながらシステムの改修を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】